

就活生のみなさんへ

実は「アレ!」私たちが
作っています。



Happy Together



デリカテッセン(独)とウイング(英)を
語源に創った社名です。
直訳すれば「惣菜の翼」です。
コーポレートカラーであるウイングレッドは
秩序ある組織と強靭にして熱い意志を表します。

デリカウイング株式会社



デリカウイング 🔍

会社名 デリカウイング株式会社
所在地 本社・広島工場：広島県廿日市市宮内工業団地2-5
岩国工場：山口県岩国市田原266-3
デザート工場：広島県廿日市市宮内工業団地1-2
創業 1971年11月
資本金 1億円
代表者 代表取締役会長 細川匡 代表取締役社長 河野充志
従業員数 社員170名 定時社員1,468名
事業内容 弁当・おにぎり・サンドウィッチ・惣菜・サラダ・スイーツ
主要取引先 株式会社セブン-イレブンジャパン

デリカウイング株式会社





お客様に笑顔とおいしさの感動をお届けするため、
私たちは毎日300種類1年で1億食製造し、取引先である
セブン-イレブンの中四国1500店舗に納品しています。

「アレ!」ていうのは実は **コレ!** なんです





わたしを支える
チームデリカは

お客様が求めている コトを市場からいち早く キャッチして商品に

就職活動の中でデリカウイングはセブン-イレブンの商品を開発・製造していることを知り、ここで働くことが出来ればより多くのお客様に自分が作った商品を手にとっていただくことができるのではと思い、この会社に決めました。

しかし思い描いていた商品を実際に形にするのは難しく、何度も何度も試作を行いました。上手くいかず悔しくて逃げ出したいこともあります。自分の目指している姿になり、実際にコンビニの店頭と並んで、お客様が手に持っている瞬間の感動は何にも変えられないやがいを感ずります。

入社し研修後、すぐに開発に配属されました。

やりたかった開発が出来ることの喜びよりも製造についての知識がない状態での仕事で不安ばかりでしたが、自分の仕事をフォローして下さる上司・同僚・他部署の方々・パートさんなどたくさんの方々がいって下さったからこそここまでやり抜くことが出来たのだと思います。

わたしの1日

- 9:00 9時出勤・メールの確認
- 11:00 試作
- 13:00 休息
- 14:00 企画書の作成・資料作成
- 15:00 企画書の作成・資料作成
- 16:00 企画書の作成・資料作成
- 17:00 事前計量等・明日の準備
- 18:00 退社

就活生のみなさんへ

就職活動では企業の方々、他大学の学生等普段関わる事の少ない人たちと関わる事が出来ます。説明会や面接であなたの隣にいる人はもしかしたら、1年後あなたの同期になっているかもしれません。大変な就職活動も見方を変えると楽しくなりますよ。



お客様の「美味しい」は元気の源です

末宗 三季



わたしを支える
チームデリカは

衛生と品質を管理し お客様に安心・安全な 商品をお届け

私はこの会社に最初はパートとして入社しました。

正社員として働くための就職活動をしている時に、当時の上司が私の仕事を評価してくださり、社員へと推薦して頂きました。普段働いている中で、「今日は何をどこまでしなければならない」などと、仕事が決まっているのですが、それがスムーズに終わると、やりきったという達成感を感じます。

しかし、仕事は楽しいことばかりではありません。

まだ入社して間もない頃お客様からお申し出に対応する機会がありました。しかし自分の知識不足のため何も返答ができず、お客様に不快な思いを与えてしまったことがあります。もっと知識があれば、お客様に納得していただける対応ができたはずなので、とても悔しかったです。

2年目の今ではお客様から「あなたに対応してもらえて良かった」と言ってもらえるような対応ができるよう、日々、経験と勉強で、知識をつけることを心がけています。

繁忙期は忙しくてつらいと思うこともありますが、優しいパートさんたちがいるから頑張れます。人生の先輩であるパートさんは、仕事だけではなく、子育てのことなどいろいろ教えてください。

まわりの人たちに会えたことが、この会社に入社してよかったと言える1番の理由です。

就活生のみなさんへ

就職活動中の皆さんにとって、社会人とはどういうものか想像がつかないとは思いますが、自分の将来をよく考えて、たくさん行動して、自分の未来を切り開いてください。

わたしの1日

- 9:00 9時出勤・メールの確認
- 10:00 データベース確認
- 11:00 帳票作成・チェック
- 12:00 現場巡回
- 13:00 メールの確認
- 14:00 休息
- 15:00 商品ラベル読み合わせ
- 16:00 新商品指示確認
- 17:00 クレーム対応・書類作成 退社
- 18:00 クレーム対応・書類作成 退社



たくさんの先輩がわたしの財産です 居藤 麻衣



わたしを支える
チームデリカは

毎日が学びの連続です

佐々木 章恵



注文を受けた商品を製造できるように指示を出す司令塔です

この会社を選んだのは、デリカウイングの取引先であるセブン-イレブンでのアルバイトを通して「商品はどのようにしてできるのか」ということに興味を持ったからです。

私が所属している生産管理課は、いわば司令塔の部署です。指示を出し忘れたり、不適切な指示を出すと、商品を製造している担当部署にはもちろん、お店にまで迷惑をかけてしまうので、常に責任感がつきまといまいます。しかし、私はそれがやりがいに繋がります。

この会社を選んでよかったことは、セブン-イレブンに並ぶ新商品の情報がいち早く分かることです(笑)

また、今まで完成品しか見られなかった商品の原材料を知ることもちろん、その特性まで学べるのは、得るものが大きいです。例えば、スイーツ作りに欠かせない「卵黄」でも、商品によって異なる種類の卵黄を用いたりしています。

就活生のみなさんへ

就活中は自分のことだけで精一杯になってしまうと思いますが、相手の立場になって考えることも忘れないください。「相手が何を求めているのか」と考えることは、就職してからも重要になってきます。悔いが残らないよう頑張ってください！応援しています！

※ロットテストとは
新商品が発売される3週間ほど前に、その商品がきちんと製造できるかを100食でテストしてデータをとることです。商品によっては200~300食テストすることもあります。

わたしの1日

9:30	9:30 出勤
10:00	ロットテスト会議
11:00	確定処理
12:00	受注予測作成
13:00	製造指示等
14:00	休息
15:00	
16:00	新商品配信確認
17:00	
18:00	書類作成等 退社
19:00	



わたしを支える
チームデリカは

実際に店頭で並んでいる商品を製造します

私がデリカウイングに入社したきっかけは、学生時代に食品業界に就職したいと思っていたからでした。

製品の製造スケジュールを作成し、実際に人を動かし、美味しい商品をコンビニへとお届けするのが私の主な業務です。当初は自分の確認不足で製造ミスがおきてしまい、すべてやり直しになってしまったときは、生産部だけでなく、他の部署にも迷惑をかけてしまうこととなって、とても申し訳ないと思いました。

それ以降は社員として時間の管理や作業手順など厳しくチェックするようになりました。自分が組んだスケジュールが滞りなく進行すると気持ち良いとともに、日々の業務にやりがいを感じます。

就活生のみなさんへ

いろいろな職種があると思いますが、しっかり悩んで、自分が少しでも働きたいと思う会社にどんどんチャレンジしていきましょう。そのチャレンジ精神を受け入れる体制がデリカウイングにはあります。

※現場監督とは
商品マニュアル通りに作られているか
安全で衛生的に作られているか
スケジュール通りに進捗しているか
などを確認します。

わたしの1日

8:00	8:00 出勤
9:00	
10:00	現場監督
11:00	
12:00	休息
13:00	
14:00	現場監督
15:00	
16:00	明日の準備・製造計画作成 退社
17:00	

食品業界は学生時代からの目標でした

荻谷 大輔





本社・広島工場



岩国工場



デザート工場

セブン-イレブンとの提携

1982年8月私たちデリカウイングは広島におけるセブン-イレブン1号店より米飯・調理パンの納品を開始しました。そして1997年にはデザートの製造も開始し、現在ではお弁当・おにぎり・惣菜・調理パン・サラダ・スイーツの製造だけでなく開発を行い、中四国1500店舗に納品しています。

トップクラスの安全管理

デリカウイングは、お客様に「安全・安心な商品」をお届けするため、全社をあげて以下のような品質管理を行っています。

- 日本デリカフーズ協同組合のHACCPシステム手法に基づいた独自の品質・管理基準を定め、品質・衛生管理を徹底し、データに基づいて科学的に食の安全・安心を保証
- 日々の業務において、各工程での品温チェック及び官能検査、出荷前製品検査、製品検査による品質管理や機械類の衛生管理を拭き取り検査
- 良質な原材料を選定、また原材料からお店までの仕入・製造・仕分・納品までの流通を徹底した温度管理と工場の衛生管理を徹底



地産地笑の精神

デリカウイングの目指す「地産地笑」とは、地域のお客様、取引先原材料メーカー、そして私たちがHappyになることです。そのために

- 1 地域で馴染みのあるメニューの開発
 - 2 地域で消費の高い原材料の取組み
 - 3 地域で生産されている原材料メーカーとの取組み
- これらに私たちは取り組んでいます。

「感性を磨く」福利厚生

私たちは多くの方々に喜んでいただく「ものづくり」のためには、研ぎ澄まされた感性が大切だと考えています。より感性を磨くため

- 1 ミュージカル、映画、落語などへの無料招待
- 2 季節毎の食べ歩き推奨
- 3 社外研修への参加支援
- 4 定期的な海外への社員旅行など積極的に推進しています。社員だけでなく定時社員の方にも
- 5 7年勤続の旅行プレゼント
- 6 誕生日食事を実施
- 7 年に1回感謝の意を込めた夏祭りでも盛り上がりませう。

私たちは、新しい食文化の担い手になる

●働いて知った！デリカウイングの魅力
社員教育に熱心で基礎・基本をしっかり身につけられるので若いうちから活躍できる(16年目男性)

●働いて知った！デリカウイングの魅力
コンビニ業界最大手がビジネスパートナーなので将来安定(9年目女性)

●働いて知った！デリカウイングの魅力
たとえ成果が上げなくても頑張れば頑張った分だけ評価される(4年目女性)

●社員90人に聞いてみました
社員の仲は良いと思いますか？



- 充実した社内行事ある
- 多くの部署が携わって商品を作り上げていくので団結力が強い
- 多くのパートさんが働いているため協調性が高い社員が多い



●社員90人に聞いてみました
仕事にやりがいを感じていますか？



- チャレンジする環境があり、そのチャレンジに対してしっかりと評価してくれる
- 自分が担当・開発した商品をお客様に召し上がっていただける
- 中・四国地方のお客様の胃袋を支えているのだ～！

社長43歳の行動力

●デリカウイングは、どのような企業ですか？

デリカウイングはおいしさ創造企業

おいしいものを食べたら誰だって笑顔になれる。おいしさの創造は幸せの創造だと思うんです。お客様であったり、家族であったり、取引先、地域、仲間であったり、まわりのみんなを幸せにする、これがコーポレートスローガンの **Happy Together** に繋がってるんじゃないですかね。

●入社のきっかけは？

販売の仕事からモノづくりの仕事へ

僕はこの会社に中途に入ったんですよ。それまでは自営業で洋服を販売していて、その時に以前関わりのあった当時の社長に声をかけられたんですね。販売の仕事って仕入して売るからお客様のジャストの要望にはなかなか応えられなくて。モノづくりって本当にお客様が欲しいものは何なんだろうって考えて作るから、当たりはずれはあるけど、それが本当の付加価値の追求だと思ったんです。だからモノづくりがしくて……それで入社しました。

就活生のみなさんへのメッセージ

周到な準備とやり抜く覚悟～就職活動中の皆さんへ～

今後の人生の40年が就職活動中のたった1年足らずで決まってしまう。就職活動はいかに多くの情報を得ることができるかが勝敗の分かれ目だと思います。近年、企業とのアンマッチで離職する若者が多いですが、様々な企業を調べ、インターンシップやOB・OG訪問をするなど自分自身の足でその隠れた情報を掴みにいってください。そして、内定はゴールではありません。プライベートや仕事の両立でライフプランが描けるかどうか、そのためにも周到な準備とやり抜く覚悟を持って就職活動中の学生から社会人へとステップアップしていってください。最後に、皆さまが希望される会社に入社されることを心から願っています。そしてその会社がデリカウイングであればこの上ない喜びはありません。頑張ってください、ご健闘をお祈りいたします。

代表取締役社長 河野 充志



●デリカウイングの開発力の秘訣は？

デリカウイングの開発力の秘訣は挑戦できる社風

たとえ突拍子のないことを言ったとしてもそれを受け入れる、やりたいことへの理由が明確であればやる、私は開発においては否定しないと決めているんです。けれど、たとえいいアイデアがあっても言葉にでてこないと終わるなんて。ギスギスした雰囲気だと開発って進まないんですよ。そのためにも従業員がチャレンジできる環境をつくらないといけないと思っています。でもね、開発力って言っても普通のものがすごく売れるようになるのは、案外ちょっとしたことなんですよ。

デリカウイング代表取締役社長

河野 充志

1974年1月5日生まれ

1997年デリカウイング入社

2016年5月代表取締役社長に就任

遊ぶ
楽しむ
働く

●デリカウイングの魅力は？

意見が言える社内環境がデリカウイングの「魅力」

役職等関係なく社内や飲み会などの席でも気兼ねなく話すことができるところがデリカウイングの魅力ですね。風通しの良い職場だって、ほかの企業の方から言われることも多いんですよ。

やっぱり言いたいことは言わないと後悔するじゃないですか。

もしAとBの対立する意見があったら、Cが生まれたらいいでしょ？

新しく生まれたCという意見が両者が納得する素晴らしいものだったら、やっぱり議論はしたほうがいい。そのためにも言いやすい環境を築いていこうと、僕自身も心がけていますね。また、高齢化・女性の就業率が上がることで「中食」の需要が高まりを見せているこの世の中で、なくてはならないコンビニ業界、ましてやトップ企業のセブン・イレブンを取引先として据えていることは相当な強みだと言えるでしょうね。